

商業系高校生の研究発表

利根商が最優秀

民話の観光活用を企画

県内の商業系高校による県高校生徒研究発表会（県商業教育研究会主催）が23日、伊勢崎市の県総合教育センターで開かれた。7校が地域活性化や観光振興を主題にした研究成果を発表し、最優秀賞に利根商業、優秀賞に高崎商業が輝いた。両校は、9月に栃木市で開かれる関東大会に出場する。

利根商業は、みなかみ町を訪れる外国人観光客の増加を狙い、同町に伝わる民話を英訳して観光客に配る事業を企画。民話の専門家や観光事業者への取材のほか、クラウドファンディングでの資金調達に取り組み、民話を絵本と電子書籍にまとめた。3年の閑野有紀さんは「研究に協力し

てくれた多くの人に感謝したい」と受賞を喜んだ。高崎商業は、福祉作業所を運営する渋川市内のNPO法人のコンサルティングに挑戦。利用者の工賃向上を目指し、作業所で製造す

最優秀賞の利根商業（上）と、優秀賞の高崎商業



る菓子のパッケージデザインや陳列方法を見直したほか、新商品を開発して販売した。3年の高杉美帆さんは「全国大会に行けるように仲間と頑張りた」と意気込んだ。発表会は、企画力や

問題解決能力、プレゼンテーション能力を養うことが目的。研究の論理性や獨創性、発表態度などの観点から審査した。次点の優良賞には桐生商業が入った。

た。